

デマを信じてしまうときは？

ネットで調べ物をしていると、ある18歳^{さい}の芸能人に関して、「〇〇はタバコを吸っている」というデマ情報を目にしました。このデマ情報を信じてしまう場面を考えてみましょう。

どんなときに？

- 1 好きなインフルエンサーも言っているとき
- 2 身近な人も言っているとき
- 3 ネットニュースでも書かれていたとき
- 4 SNSでたくさん情報を目にしたとき
- 5 短い動画で広がっているとき
- 6 いいねがたくさんついているとき
- 7 しょうこ証拠となるニセ写真もあったとき
- 8 同じようなことを前にも聞いたことがあるとき

自分の状況は？

- A その人のことが好きではないとき
- B その人のことをよく知らないとき
- C その人のことを好きなとき
- D その人のことを好きな友達に伝えようと思ったとき

1 一方的な情報に気をつけよう

決めつけ、これが絶対に正しいんだ！など、
誰かが一方的に決めつけた情報を疑うようにする

2 単純な二元論に気をつけよう

「敵」か「味方」か、「良い」か「悪い」かなど、
安易に単純にとらえられないようにする

3 第三者はどう思っているのかな？

他の人の意見を意識してみよう

 スキルのポイント

自分が興味、関心をもつ人をフォローしたために、自分と似たような意見ばかりを繰り返し目にして、その意見が正しいと思ってしまう現象のことを「エコーチェンバー」と呼びます。

こうした情報を読み解く場合には、図の「1 2 3」を意識してみましょう。

たとえ間違った情報でも、繰り返しその情報を目にしたり、その情報に関係する動画や写真などを目にしたりすると、「絶対に正しい情報だ」と思ってしまいがちです。